

G20大阪サミット ボランティア体験報告



グローバルビジネス学部グローバルビジネス学科

G17086 住野梨湖

指導教員 瀬島誠先生
平田祐子先生

G20大阪サミットと私の役割

G20大阪サミットとは

- 20個の国と地域、国際機関により毎年開催される国際会議
- 正式名称：「金融・世界経済に関する首脳会合」
- 2019年初めて日本で開催
- 6/28（金）、6/29（土）
@ インテックス大阪

魅力発信スペースとは

- G20開催時に5つの関西の魅力（茶室、小料理、未来、茶席、観光案内）を発信するために設けられたスペース

役割

- 魅力発信スペースにて海外報道陣の応対関西の良さを発信する仲立ち



この活動に応募した理由

英語力を活かしたかった

大学生活を通じて英語の勉強をし、交換留学を経験していた私は自分の英語力を試すため、勇気を出してエントリーしました。その結果、学内9人の応募者の中から選んで頂くことが出来ました。

生まれ育った大阪の魅力をより多くの人々に知って欲しかった

大阪は「天下の台所」と呼ばれるほど食べ物がおいしいです。観光スポットも多く、電車やバスなど交通面でも充実しています。そんな大阪の魅力をより多くの人に知ってもらい、観光しに来て欲しいと思い応募しました。



活動内容



第一回研修（4/20）

英語で自己紹介

接遇研修（社会人としてのマナー、海外の人と接する上でのマナー、ロールプレイング）



第二回研修（5/18）

魅力発信スペースについての説明

観光交通案内デスクについての説明

語学研修

結団式（6/22）



@大阪府庁咲洲庁舎
吉村大阪府知事による挨拶
代表決意表明
記念撮影

ボランティア当日（6/27）



@インテックス大阪
茶室ブース担当
実働5.5時間
海外報道陣15組対応



ボランティア当日に至るまで



英語の勉強



外交について勉強



茶道について勉強

大学を代表してこのボランティアに参加させて頂くことが出来たので役割を全力で果たそうと思い、事前に英語、外交、茶道について勉強しました。この3つのことを勉強するに当たって瀬島誠先生、平田祐子先生にはご教示頂き、大変お世話になりました。この経験は日本文化に興味を持つきっかけになり、自分に自信がつくなど私の成長に大きく繋がりました。改めて、勇気を出し挑戦することの大事さに気付くことが出来たので、本当にボランティアに応募してよかったと思います。これからも何事にも積極的に挑戦して、もっともっと成長します。



指導教員 瀬島先生 コメント

- 住野さんがボランティアとして活動した大阪国際会議場の奥では、主要各国の間での外交活動が展開されていました。その実際を知ることはできません。しかし、活動する場がどのようなものかを彼女が知っておくことは重要だと判断し、外交や国際関係に関する定評ある書籍を10冊程度読んでもらい、レポートも作成してもらいました。最後は、キッシンジャーの『外交』上下（日本経済新聞社、1996年）にも挑戦しました。理事長、学長をはじめ、大学の様々な部署の支援を受けて、見事に大役を果たしたことは嬉しい限りですし、彼女の大きな成長に繋がっています。卒業後の活躍に期待します。



指導教員 平田先生 コメント

- 住野さんのG20大阪サミットへのボランティア参加が決定し、担当部署がお茶室ということで、和室でのマナーや来客応対・接遇表現の手ほどきをさせていただきました。彼女は真摯な取り組み姿勢で理解力に優れ、やはり選抜されるに相応しい学生で、私が執筆したテキストやお渡しした書籍には全て目を通されたとのことでした。大阪国際の学生だからこそ自国の文化に触れ、興味を持っていたいただきたいという理事長や学長のご意思が通じたのか、ボランティア活動が終わってからは華道部に入部し、現在は部長としてご活躍くださっています。ますますのご成長を祈念申し上げます。

